

わーく&らifu

令和3年1月28日 進路指導部 発行

■CONTENTS■

★オンラインの可能性～コロナ禍を乗り越えるアイデア～

■失われたキャリア教育の場

コロナ禍は私たちの暮らしにさまざまな制限・制約を課しています。学校では臨時休校に始まり、各種行事の変更や中止を余儀なくされており、中でも高等部卒業後の進路決定に向けてなくてはならない「就業体験（施設見学、施設体験、現場実習）」への影響は大きく、一般学級では、1・2年生の現場実習が中止、重複障がい学級では中学部の施設見学と高等部の施設体験が一部中止となりました。

特別支援教育におけるキャリア教育は、「実際の体験」抜きには成立しません。ですから、学校におけるコロナ禍の最大の影響のひとつは、いろいろな体験の場の消失であり、体験を通じた成長の機会の消失であり、重要課題としてのキャリア教育の場の消失とも言えると思います。



1 授業実践紹介

高等部重複障がい学級のZOOMによる施設見学

このような状況下にはありますが、進路を考えるに当たっては、本人・家族・担任が、進路候補となる事業所情報を詳しく収集することが欠かせません。

そこで高等部重複障がい学級では、オンライン会議ソフト「ZOOM」を利用した、オンライン型の施設見学を実施しました。

本校側では、対象生徒・家族、担任のみならず、下級生なども興味津々とテレビ画面を見つめ、オンラインの先には、福岡県みやま市にある生活介護事業所の担当者がスタンバイ。約30分間の見学会でした。



「施設側のご厚意で実現しました。」

見学会の流れと本人の感想 ①参加者自己紹介 ②施設紹介・見学

③質疑応答（生徒からの質問、家族からの質問、施設からの質問）



「双方向のメリット。質問タイム。」

「コロナが流行っているので見学に行けなかったからオンライン施設見学をしました。大きなモニターに施設の中の大きな写真が映っていてわかりやすかったです。オンラインは離れた人とも話できるいい方法だと思いました。ですが、やっぱり実際に行ってみないとわからないところもあるので卒業後しばらく行ってみて僕に合うかどうか調べたいと思います。」

生徒の感想から

取組を振り返って

今回の取組の成果はまさに、生徒の感想に中にはっきりと現れました。生徒自身が「いい方法」だったと振り返っており、実際の訪問ができない状況を、完全ではないにしても改善できたことがうかがえます。

本校では、コロナ禍で「できないづくし」の今でも「できる最善な方法」をこれからも探し続けて参ります。

2 オンライン研修会の紹介

コロナ禍の今、私たちのさまざまな研修会や、保護者向けの勉強会なども、実施できなくなっています。お知らせしておりますように「ARA・SHI福祉就労セミナー」も、緊急事態宣言下の1、2月は中止しました。

こんな状況に負けまいと、埼玉県の特設支援学校保護者会「親父の会」主催のオンライン研修会が企画されていますので紹介いたします。保護者の皆様方にはとても興味のある「親亡き後問題」を取り扱う研修です。

詳しくは裏面をご覧ください。各自お申し込みください。

【開催方法】YouTube LIVE配信（参加費無料）

【開催日時】令和3年2月13日（土）10:00～12:00

編集後記 高等部3年生では今、進路先への引き継ぎ資料（個別移行支援計画）

作成のためのミーティングの真っ最中です。本人・保護者が感じる「将来への希望や不安」を出発点にして話し合い創り上げるこの資料は、生徒に関わる人たちすべてに引き継がれ、卒業後の生活や追指導の羅針盤になる重要なものです。作成に当たっては毎年身が引き締まる思いがします。

（高等部 谷口）

北養かしの木おやじクラブ主催

親心後見webセミナー

専門用語を使わない

障がいのある子の

『親なき後』のお金の話



しかない こうしろう
講師 鹿内 幸四郎

一般社団法人日本相続知財センター本部
専務理事・相続知財鑑定士

親なきあと問題のみならず、相続対策の専門家として、セミナー受講者は全国に3万人を超えており、『専門用語を使わない』セミナーとカウンセリングには定評がある。ダウン症のひとり娘17歳の父親であり、自ら開発した『親心後見』の日本初の実践者である。発行責任者である『親心の記録』は、累計37万部製作。2020年8月、書籍『障害のある子が「親なき後」も幸せに暮らせる本』（大和出版）を出版。

セミナー内容

講師の実体験に基づく『親心後見』と『親心遺言』のサキヨミ理論と誕生秘話。

本に言けなかった「ウラ技」と「ウラ話」。

①未成年のうちにしかできない対策

②成人してからでもできる準備

③お金のかかる対策

④お金をかけないでできる準備

やるべきことの優先順位など、今すぐ知りたい情報が満載

参加対象者

①知的障害者の保護者・ご家族（特に15～19歳の未成年の保護者）

②学校教育関係者

③社協・社福・NPO・放課後デイなどの支援者

※当事者、支援者以外の方はご遠慮いただく場合があります。

出版記念
無料配信

YouTube LIVE
2021年

2月13日(土)
10:00～12:00

※申込締切
2月5日(金)

特典付き



特典1

サイン入り
著書本

1名様に鹿内講師
のサイン入り書籍
プレゼント

特典2

講師個別相談
無料券

1名様に鹿内講師
による1時間個別
相談無料券を
プレゼント



※特典1・2は
ご希望者の中から鹿内講師
がアンケートのコメントを
拝見して当選者を決定させ
ていただきます。

セミナーのお申込み



30年後、私たちが死んだら “うちの子”どうなる？

起こりうる困難を先読みしてつくった「親心後見」のしくみと、

将来にわたって妻と子が

安心して暮らせるお金ののこし方